

都市再生整備計画 事後評価シート
松代地区

平成27年3月

長野県長野市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	長野市		地区名	松代地区			面積	306ha		
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	566.3百万円	国費率	0.411				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市道松代西153号線、代官町西条線(街))、地域生活基盤施設(耐震性貯水槽)、高質空間形成施設(小鮎川)、街なみ環境整備事業(旧金箱家住宅保存整備)										
		提案事業	松代小学校外構修景、旧金箱家住宅活用計画策定、登録文化財推進歴史的建造物調査、登録文化財推進歴史的庭園調査、歴史文化の発信・誘客										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(代官町西条線)、高質空間形成施設(裏柴町水路)	削除/追加の理由 ・代官町西条線(道):隣接工事との施工時期の調整のため。 ・裏柴町水路:市民ニーズが変化したため。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 一部の指標に関係するが、数値目標は据え置く						
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	既存建造物活用事業(旧金箱家住宅)	・旧金箱家の活用計画策定によって建築物部分を街なみ環境整備事業から移行。			影響なし						
		提案事業	なし										
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
	変更												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
							モニタリング	評価値					
	指標1	歴史的道すじの歩行者数	人/日	1,024	H21	1,000	H26	643	727	△	あり ● なし	歩行者空間の整備や史跡等の保存整備によるまちの魅力向上に加え、まちなか観光の推進によって歩行者数の減少傾向が緩和されているため目標達成を見込む。	H27.11月
	指標2	松代藩文化施設の入館者数	人/年	465,384	H21	470,000	H26	439,572	452,211	△	あり ● なし	史跡等の保存整備に加え、文化財の活用によって入館者数の減少傾向が緩和されているものの、長野電鉄榊屋代線の廃線の影響などによる減少からの回復が遅いことから事業効果が評価値に十分反映されなかった。	H27.4月
	指標3	地区の道路整備に対する満足度	ポイント	54	H21	59	H26	55	54	×	あり ● なし	事業実施によって一定の評価は得られているものの、当計画では位置付けていない身近な道路の整備が不十分と感じる市民の割合が大きいことから事業効果が評価値に十分反映されなかった。	H27.10月
指標4	地区の街並み整備に対する満足度	ポイント	62	H21	67	H26	62	61	×	あり ● なし	事業実施によって一定の評価は得られているものの、街並み整備の取り組みが地域全体に広がっていないと感じる市民の割合が大きいことから事業効果が評価値に十分反映されなかった。	H27.10月	

	指 標		単 位	従前値		目 標 値		数 値		目 標 達 成 度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	松代まち歩きセンターの利用者数	人/年	7,520	H23	/	/	-	11,980	/	/	観光地としての魅力向上のほか、NPO法人等を支援することで、市民が主役の町おこし活動が活性化し、回遊性と観光客の誘客につながった。	H27.4月
	その他の 数値指標2	松代観光案内所の利用者数	人/年	36,650	H21	/	/	-	40,007	/	/	城下町らしい街なみの形成と市民団体等による町おこし活動によって「遊学城下町・信州松代」としてのブランドが向上したことで、回遊性の向上と観光客の誘客につながった。	H27.4月
	その他の 数値指標3	登録文化財の件数(累計)	件	55	H21	/	/	-	80	/	/	登録文化財の登録を推進したことで、地域住民の文化財等の保存に対する意識が向上し、歴史的な街なみの維持向上につながった。	H27.4月
4) 定性的な効果 発現状況	<p>・本計画の実施を通して、まちづくりに対する意識が高揚し、地域住民によるまちづくりの計画が策定されるなど、官民連携したまちづくり活動が積極的に行われるようになった。</p> <p>・市民団体等の活動を通じ、「遊学城下町・信州松代」としてのブランドが向上したことで、全国的に知名度が上がった。</p>												
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	所定のモニタリングシートによるモニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた	●			計画期間終了後においても、モニタリングの手法を用いて定期的に確認する。		
	住民参加 プロセス	寺町商家利活用ワークショップ					都市再生整備計画に記載し、実施できた	●			引き続き、旧金箱住宅の管理運営に携わる予定。		
	持続的なまちづくり 体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた	●			-		

様式2-2 地区の概要

松代地区(長野県長野市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 地域の個性ある歴史や文化を活かし、交流の促進や良好な街並みと自然が共存するまち 目標1: 城下町らしさを演出する街並み景観を守り育て、誇りと潤いの感じられる住環境づくりを推進する。 目標2: 地域資源を有効に活用した観光・商業の振興・発展を図る。 目標3: 住民や来訪者の利便性の向上を図るとともに、誰もが快適に感じられる交通環境を整備する。	歴史的道すじの歩行者数	単位: 人/日	1,024	H21	1,000	H26	727	H26
	松代藩文化施設の入館者数	単位: 人/年	465,384	H21	470,000	H26	452,211	H25
	地区の道路整備に対する満足度	単位: ポイント	54	H21	59	H26	54	H26
	地区の街並み整備に対する満足度	単位: ポイント	62	H21	67	H26	61	H26
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 道路美化事業による歩道の確保、拡幅、歩車道の舗装色分けに加え、電線類地中化事業によって車道幅員を確保したことから安全性の向上が図られた。 歴史的道すじの整備や道路美化事業によって史跡等を結ぶ歩行者道路の整備が図られた。 NPO法人や市民団体を支援したことで、文化財等を活用した、まち歩きコースの開発やまちあるきマップの作成に加え、まち歩きガイドによる散策会や市民参加型の講座などが開催され、まちの回遊性が向上した。 NPO法人や市民団体を支援したことで、住民主体のまちおこし活動が活性化され、文化財を趣味や生涯学習等の場として活用する体制が整い「遊学城下町 信州松代」のブランドが向上した。 歴史的な建造物や庭園調査によって文化財に対する住民の意識が高揚し文化財等の保存が促進された。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 行政、地域、指定管理者の連携によって旧金箱家の利用促進を図る。 地域住民主導によるまちづくり活動や観光振興事業を継続させ、地域経済の活性化につながる事業に発展させる。 幹線道路や観光用駐車場へのアクセス道路の整備によって地域住民や観光客の利便性、安全性の向上を図る。 歴史的価値のある史跡等の保存整備を推進するとともに、城下町らしさを演出する街なみの形成を図る。 市民団体や商業関係者と連携し観光地としての魅力向上を図るとともに、有効で効果的な情報発信を推進する。 							